

1. 活動の概要

6月24日(水)、松江市立持田小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに持田町の歴史について県埋蔵文化財調査センターの職員から、話を聞きました。持田小学校の校区(西持田町、東持田町、坂本町、福原町、川原町、上本庄町福原)には、古墳が124基あることや、その他昔の人が暮らした集落跡、役所跡、街道跡があったことを勉強しました。

次に、はにわについて話を聞きました。はにわには土管のような形をした円筒はにわ、人物や、馬、家形のはにわなど様々な形の種類があることを学びました。またはにわは古墳でどのように使われたのか知りました。外から悪いものが入ってこないように古墳の周辺に並べて置かれたりしたことを学びました。

そのあと、図工室に移動して、いよいよ「はにわ作り」に取り掛かりました。胴体作りと頭部を貼付けるところまでは皆一様にできましたが、手を胴体に貼付けるところは苦労しました。頭部や手の貼付けなど、みなそれぞれ良く考えて個性的な作品が多くできました。なかには、馬形のはにわ作りに挑戦する子もいました。苦労しましたが、先生方からのアドバイスをよく聞き、楽しみながら上げることができました。

2. 活動の様子

1)持田小学校周辺の遺跡について知る



「持田小学校の校区内には古墳が124個もあります。」



「福原町には昔の役所がありました。」

2)古代体験活動～はにわ作り～



「最初に、はにわの胴体を作ります」



「みんな一生懸命に作成中です」



「皆さん、上手にできましたか。」

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- ・持田にはいっぱい古墳や遺跡がありびっくりした。自分の家のそばに有名な遺跡があることがわかってすごいと思った。
- ・「はにわ」作りを始めた「野見宿禰」が島根出身ですごいと思った。
- ・はにわ作りが心に残った。形や模様を工夫して、自分なりのはにわができてうれしかった。
- ・はにわのことや、古墳や遺跡のことなどもっと知りたいと思った。またじっさいに見学してみたい。

2)担任の先生から…

- 持田の歴史の説明ではたくさん古墳があることや、昔の持田の特徴など子ども達が興味を持って聞くことができた。
- はにわ作りは、子ども達がとりかかりやすいように事前準備をさせていただいたおかげで、楽しく活動し、ユニークで独創的な作品が並んだ。
- 材料をすべて用意していただき、子ども達も興味をもって取り組むことができました。

3)埋文センターから

持田小学校周辺の歴史の説明については、難解な部分があったりして分かりにくい部分があったかも知れないが、地元古墳や遺跡の多さに興味を持ってもらえて、全体的にも集中して聞いてもらえた。ただ個別に資料を配付するなど工夫すればよかった。

はにわの説明では(後の)出雲国出身の「野見宿禰」の話や本物のはにわなどに興味をもってもらえた。

はにわ作りでは、最初から意欲的に実施してもらえた。ただ制作中は、思い通りの形に作ることに苦勞する部分が見られたが、先生方のご協力もあり進めることができた。馬形はにわを制作するなどそれぞれ個性は見られたが、みな説明にそった形で制作してもらえた。全員が時間内に完成することはできなかったが、土製品(はにわ)を作る技術や難しさなどを学んでもらえたと感じました。